

平成21年8月5日

各位

上場会社名 株式会社 鶴弥
 代表者 代表取締役社長 鶴見 哲
 (コード番号 5386)
 問合せ先責任者 管理部長 杉原 隆義
 (TEL 0569-29-3740)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,698	180	76	30	3.91
今回発表予想(B)	4,931	139	△74	△64	△8.33
増減額(B-A)	△766	△40	△151	△94	
増減率(%)	△13.4	△22.5	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	5,912	78	△70	△92	△11.92

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,705	394	219	103	13.29
今回発表予想(B)	9,491	274	△82	△83	△10.74
増減額(B-A)	△1,213	△120	△301	△186	
増減率(%)	△11.3	△30.5	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	10,997	462	203	82	10.68

修正の理由

(第2四半期累計期間)

売上高につきましては、前回(平成21年5月8日)発表しました業績予想では5,698百万円といたしました。しかしながら、当第1四半期会計期間につきましては、粘土瓦の需要の動向を大きく左右する新設住宅着工戸数(持ち家)が平成21年5月では8ヶ月連続で前年割れするなど、雇用・所得環境の厳しさによる個人消費マインドの冷え込みから販売環境が一段と厳しさを増したこともあり、売上高は前年同期比12.9%減となりました。

このような状況を踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想につきましては、引き続き販売力を強化し潜在需要の掘り起こしに努めてまいります。売上高は前回予想を766百万円下回る4,931百万円となる見込みであります。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の節減に努めてまいります。生産調整に伴う工場休止費用の増加もあり、営業利益は139百万円、経常損失は74百万円、四半期純損失は64百万円となる見込みであります。

(通期)

通期の業績予想につきましては、住宅ローン減税など一部に明るい兆しはあるものの、足元の景気は厳しい局面が続いており、まだまだ先行きは不透明な状況にあります。

以上の結果、売上高9,491百万円、営業利益274百万円、経常損失82百万円、当期純損失83百万円に修正いたします。

以上